

11月は児童虐待防止推進月間「ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪」

●お問い合わせ／市子育て支援課家庭支援係 ☎26-5734

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは児童相談所や市へ連絡してください。子どもを守るための大きな一歩です。

子どもへの虐待とは

児童虐待とは、親や親に代わる保護者などが子どもの身体や心を傷つけることをいいます。

●虐待の種類

【身体的虐待】 殴る、蹴る、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

【ネグレクト】 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

【心理的虐待】 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど

【性的虐待】 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

●こんなことも虐待です

保護者以外の同居人が子どもに暴力を振るっているのを知っていて、そのままにしているのも虐待です。

しつけと虐待

しつけと称して体罰を正当化していませんか。暴力は歯止めがきかなくなつてエスカレートしていく危険性があり、ときに子どもの命にかかわる事故につながることがあります。保護者にとってはしつけのつもりでも、子どもにとって有害であれば、それは虐待です。

困ったときは、まず相談を

一生懸命に子育てしているのにさまざまな理由で育児不安が増し、子どもに当たるなど不適切な関わりをしてしまう場合があります。自分では虐待をしているつもりはなくても、気が付いたときに問題が重篤化している場合があります。悩んでいるのはあなた一人だけではありません。出産や育児に悩んだときは、相談窓口を活用してください。

◎児童虐待などの通報・相談

連絡先	場所・電話	受付時間	相談内容
子育て支援課	市役所1階 ☎26-5734	月曜～金曜日の午前8時30分～午後5時15分	児童虐待の通報・相談、子どもの心配事、不安
家庭児童相談室	市役所1階 ☎24-0981	◆夜間・休日は市役所宿直室へ ☎22-5111	
子育て支援センター	松陵保育園隣接 ☎33-2444	月曜～金曜日の午前8時30分～午後5時15分、土曜日午前8時30分～正午	育児、しつけ、発育・発達
母子相談室	市民健康センター ☎26-4199	月曜～金曜日の午前8時30分～午後5時15分	育児、発育・発達、健診、予防接種

本市の取り組み

虐待を受けている子どもの早期発見、保護者への子育て支援を行うため、本市では「要保護児童対策地域協議会」を設置し関係機関が連携して対応しています。

●里親を募集しています

さまざまな事情で親と生活できない子どもたちが増えています。その子どもたちを家庭に迎え入れ、健やかに育てくださる里親を募集します。子どもを預かる期間や手続き、手当など詳しくは、児童相談所または市子育て支援課へお問い合わせください。

災害廃棄物の処理に関する測定結果について ●お問い合わせ／市環境衛生課管理係 ☎31-0933

市では、平成24年12月28日をもって災害廃棄物の受け入れを終了しましたが、酒田地区広域行政組合最終処分場(埋立地)および周辺地域における放射線量などの測定を継続し、安全性を確認しています。測定結果は下表の通りです。この結果は、市ホームページでも公表しています。

1.最終処分場における測定結果

(1)地下水、放流水の放射性物質濃度

単位：ベクレル／リットル

月日	試料名	セシウム134	セシウム137	合計	基準値 ^{*1}
9/25	地下水(上流)	不検出	不検出	不検出	(セシウム134濃度÷60) +(セシウム137濃度÷90) ≤ 1
10/9	地下水(下流)	不検出	不検出	不検出	
	放流水	不検出	不検出	不検出	

(2)空間放射線量率

単位：マイクロシーベルト／時間

測定地点(高さ1m)	9/29	10/6	10/14	10/20	基準値 ^{*1}
敷地境界(4地点)	0.04～0.05	0.04～0.05	0.04	0.04～0.05	0.19以下
バックグラウンド ^{*2}	0.05	0.05	0.05	0.05	

2.最終処分場周辺地域における測定結果

空間放射線量率

単位：マイクロシーベルト／時間

測定地点(高さ1m)	10/1	10/15	基準値 ^{*1}
大平公会堂	0.04	0.04	0.19以下

^{*1} 基準値／「災害廃棄物等の山形県内への受け入れに関する基本的な考え方」に示されている値

^{*2} バックグラウンド／自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点

11月は全国子ども・若者育成支援強調月間 一緒に見守る子どもたちの未来

●お問い合わせ／市社会教育課管理係 ☎24-2992

いじめの問題は「心豊かで安全・安心な社会をつくるためにはどうすればよいか」という、学校を含めた社会全体に関する課題です。県では、4月に「山形県いじめ防止基本方針」を策定しました。また昨年度から「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を全県で展開し、いじめを許さない・見逃さない気運を高める努力をしています。

子どもを見守る大人一人ひとりが「いじめは絶対に許さない」「いじめは卑怯な行為である」「いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうる」という意識を持ち、それぞれの役割を自覚しながら子どもたちを育てる健全な社会環境づくりを進めていきましょう。

- **家庭では**
- 子どもの話を聞きましょう
- 「いじめは卑怯な行為である」と教えましょう
- 困ったときは、学校や関係機関に相談しましょう



- **地域では**
- 積極的に声を掛け、子どもを地域全体で見守りましょう
- 地域行事などへの積極的な参加を呼び掛けましょう
- **学校では**
- 先生は子どものことをしっかりと見ていきます
- いじめの把握に努めます
- 子ども自ら、いじめをなくす取り組みを進めます
- 保護者の相談に耳を傾け、丁寧に対応します

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「家庭の日」とは、家族が語りを持ち、家族の素晴らしさ・大切さを見つめ直すための全国的な活動です。テーマを紹介します。

11月「働くことの大切さを学ぶ」

／家族の仕事について家庭で語り合ひましょう
12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」／掃除や食事の準備など、家庭の仕事を分担して行いましょう

11月は「エコドライブ推進月間」です 地球と財布にやさしいエコドライブを始めませんか

●お問い合わせ／市環境衛生課環境保全係 ☎31-0933

11月は、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなることから「エコドライブ推進月間」となっています。山形県の温室効果ガス排出量のうち、自動車からの排出量は約2割を占めています。温暖化防止のため、穏やかな運転を意識することが大切です。優しいアクセル操作は安全運転にもつながります。

- **ふんわりアクセル「eスタート」**
車は動き出すときに大きなエネルギーを使います。穏やかに発進することで10割程度燃費が改善します。最初の5秒で時速20キロ以下を目安にしましょう。
- **加速・減速の少ない運転**
走行中は、一定の速度で走るとを心掛けましょう。車間距離が短くなると、無駄な加速・減速の機会が多くなり、市街地では2割程度、郊外では6割程度も燃費が悪化します。
- **減速時は早めにアクセルを離す**
信号が変わるなど停止することが分かったら、早めにアクセルから足を離しましょう。エンジンブ

- **無駄なアイドリングはやめよう**
待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車車の際は、アイドリングはやめましょう。10分間のアイドリングで、1300CC程度の燃料を消費します。

11月から全国の事業所などでウォームビズ（過剰な暖房を抑制し、室温20度でも快適に過ごせるライフスタイル）が始まります。節電にもつながるこの取り組み、皆さんも職場や家庭で実践してみましょう。



● お詫びと訂正
本紙10月16日号2ページの「庄内文化賞と阿部次郎文化賞受賞者が決定しました」の記事に誤りがありました。左記の通り訂正し、お詫びします。
【土田貞典氏の年齢】
(誤) 87歳 → (正) 86歳